

三つの“宝”

を大きく育てます

- ①心身のたくましさ
- ②未来を拓く知恵
- ③ふるさと所沢を愛する心

教師一人一人が力をつけ、学校力を高め、子どもの生き抜く力を育む

研修

2学期以降の豊富な研修会

力をつける2学期に

学級活動充実の ための研修会

日時：9月5日(火) 13:45
会場：安松小学校 定員30人
指導者：文部科学省 安部恭子 視学官

道徳科授業づくり研修会

日時：10月10日(火) 13:30
会場：並木小学校 定員90人
指導者：聖徳大学 吉本恒幸 名誉教授

ユニバーサルデザインの 視点に立った授業づくり研修会

日時：11月21日(火) 15:00
会場：教育センター 定員30人
指導者：明星大学 小貫悟 教授

算数・数学科充実の ための研修会

日時：11月24日(金) 13:15
会場：牛沼小学校 定員50人
指導者：埼玉大学 二宮裕之 教授

道徳科充実の ための研修会

日時：12月5日(火) 14:30
会場：清進小学校 定員60人
指導者：十文字学園女子大学
浅見哲也 教授

小・中学校外国語活動・ 外国語科充実のための研修会

日時：12月6日(水) 15:00
会場：教育センター 定員50人
指導者：国立教育政策研究所
入之内昌徳 教育課程調査官

成長を実感する3学期に

わかる授業づくり研修会

日時：1月24日(水) 13:20
会場：小手指中学校 定員調整中
指導者：国立教育政策研究所
山森光陽 総括研究官

国語科充実の ための研修会

日時：1月25日(木) 13:40
会場：中富小学校 定員100人
指導者：埼玉大学 本橋幸康 准教授

特別活動授業づくり研修会

日時：2月1日(木) 13:40
会場：山口小学校 定員30人
指導者：國學院大学 杉田洋 教授

主体的・対話的で深い学びの 実現を目指す授業づくり研修会

日時：2月2日(金) 13:30
会場：荒幡小学校 定員60人
指導者：元文教大学 嶋野道弘 教授

ICTを活用した 授業づくり研修会(中)

日時：2月6日(火) 14:00
会場：東中学校 定員調整中
指導者：東京工業大学
赤堀侃司 名誉教授

奮って
ご参加ください!



「けやき」をイメージした新デザインになったよ!たくさんの方に読んでもらいたいな!



心のエネルギープロジェクト

校内推進者を育成する研修会

ゲートキーパー養成研修会 ①心理

立教大学 逸見敏郎 教授

ゲートキーパーの基礎知識を学べる内容の研修会でした。学校でできる「自殺予防」希死念慮のある児童生徒への具体的な対応のわかりやすい資料をご提供頂きましたので、校内研修等で活用し全教職員で共有してください。

【保存場所】

[共有フォルダ]>[03 教育センター]

>[♡心のエネルギープロジェクト]



厚生労働省 HP から「ゲートキーパー手帳」がダウンロードできます。



あなたの大切な人から「死にたい」と打ち明けられたら…

「TALK」の原則

- T:Tell** 「あなたのことを心配しています」と率直に伝える
 - A:Ask** 「自殺することを考えているか」率直・誠実に尋ねる
 - L:Listen** 悩んでいる人の言葉をきく(傾聴する)
 - K:Keep Safe** 安全を確保し、適切な援助を求める方法を提供
- ※「傾聴する」=きく(聞く・聴く・訊く)こと



ゲートキーパー養成研修会 ②医療

埼玉医科大学病院 桑原斉 教授

精神科医の視点で、リストカットやいじめ等の学校の対応と医療への繋げ方をご講義頂きました。文部科学省の資料は、全教職員でぜひご一読ください。



文部科学省 HP から「子どもの自殺予防マニュアル及びリーフレット」がダウンロードできます。



「自殺の話題は避けなくてもよい」というのが意外で、素直に話せる大人がいることが周りにいることが大切だと学びました。(受講者の感想)



不登校予防研修会

教育センター指導主事及び教育相談研究員

R4 教育相談研究部より、小学校低学年から中学生まで使える「ストレスマネジメントを通じた人間関係スキルアップのプログラム」を、模擬授業も交えて紹介しました。

不登校の低年齢化が進んでいて、家庭へのサポートもしっかりと早期対応できるようにしたいと思いました。(受講者の感想)



授業で使えるスライドやワークシートがダウンロードできます。



情報モラルとは (安達先生の講演より)

- ◆ 情報化社会で適正に活動するための基となる考え方や態度
- ◆ 情報化社会での行動に責任を持つこと
- ◆ 危険回避など情報を正しく安全に利用できること 等

授業では

- ◆ 実態に即した題材で
- ◆ 対話を重視し
- ◆ 家庭と共有する

02

SNSでどう伝えるか
考える



推奨：小5～中1

この問題に挑戦!

03

写真や動画を
上手に使う



推奨：中2～高3

この問題に挑戦!

02

SNSなどを使う
(小学校高学年・中学生)



推奨：小学校高学年・中学生

この問題に挑戦!

03

SNSなどを使う
(高校生)



推奨：高校生

この問題に挑戦!

文部科学省 情報モラル学習サイトより

情報モラル研修会

指導者：十文字学園女子大学副学長 安達一寿 教授

【演題】学校における情報モラル

情報化の[影]の部分

誹謗中傷、いじめ、炎上、
犯罪、違法・有害情報



日常モラルも大切

情報化の[光]の部分

コミュニケーション、人との関係づくり

文部科学省 HP を
参考にして、授業に
取り入れていこう!



ポータルサイト



学習サイト

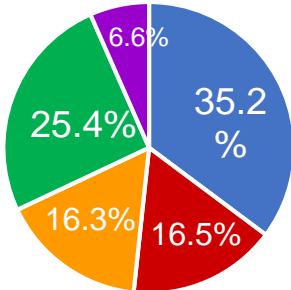


啓発資料

情報社会やネットワークの特性である「影」の部分理解した上で、光の部分によりよく伸ばすために判断力や心構えを身に付けさせる教育が必要になる。



教育センターの研修を通して、最も高めていきたいものは？



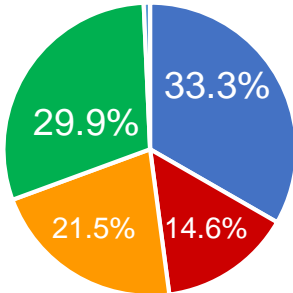
- **学習指導・学力向上**
- 学級経営
- 教育相談
- ICT活用
- その他

「学習指導・学力向上」が最も高く、次いで「ICTの活用」となり、どちらも「授業改善」に大きく関わる項目だね。

「学級経営」「教育相談」へのニーズの高さも見逃さないね！



望ましいと感じる研修参加方法は？

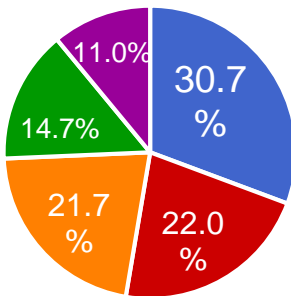


- **集合型**
- オンライン型 (Zoom や Meet による同時双方向のもの)
- オンデマンド型 (Classroom 等、任意の時間に視聴するもの)
- 上記を組み合わせたハイブリット型
- その他

オンラインでの研修が増えている中でも、「集合型」への希望の高さが伺えるね。でも、バランスも大事！研修の内容によって、開催方法を工夫していくよ！



受講したいと思う研修形態は？



- **指導者からの講義**
- 他校職員との情報交換
- 研究授業の参観
- 演習 (実験・実習含む)
- グループ協議等

「指導者からの講義」「他校職員との情報交換」「研究授業」への要望が高くなったよ。

先生たちが参加したいと思える研修会の形態を工夫していきます。これからも参加してね！



自由記述より

418人の先生方から回答をいただきました。御協力ありがとうございます。

- 今年度参加した研修がすべて大変勉強になる内容でした。今後も参加や受講の機会を多くいただきたいと思いました。
- 働き方改革に合った研修会をしてほしい (研修の質を高める、研修の精選、オンラインでの実施、夏季休業中での実施 等)
- ICTの研修の充実 (実際の授業が見たい、苦手な教員向けの研修、聞くだけでなく実際に操作する研修 等)
- 特別支援教育の研修を望みます (若手の先生向け、特別支援学級の生徒への性教育 等)

